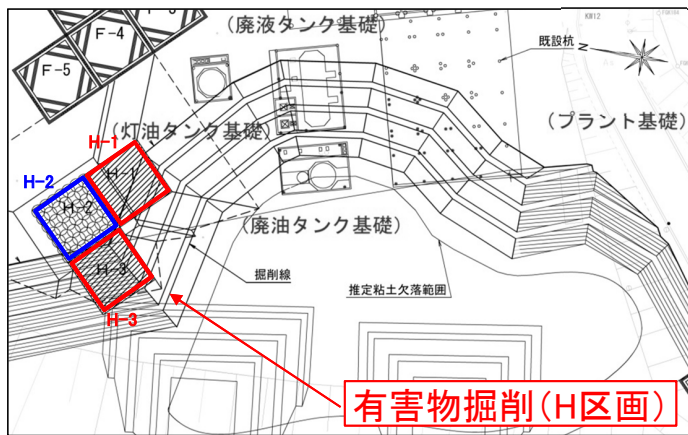


H区画の実施状況



- 進捗状況**
- ・ 10月上旬から全旋回オールケーシング工法による掘削に着手
 - ・ 11月上旬に掘削除去が完了

- 施工写真**
- ① 掘削状況
 - ②③ 出土状況(大型鋼材等)



撮影日 平成29年10月4日

①



②

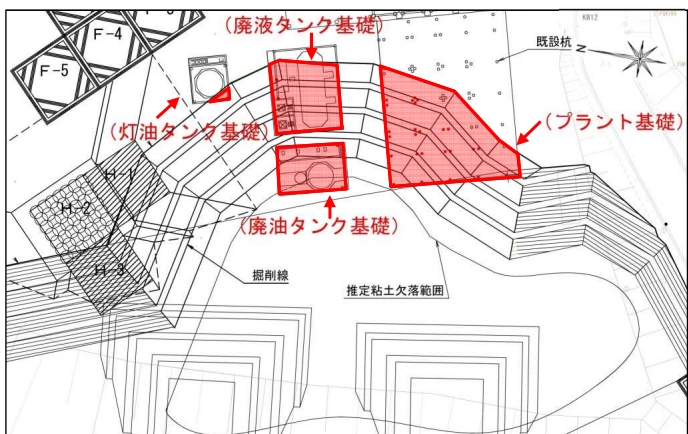
撮影日 平成29年10月4日



③

撮影日 平成29年10月10日

既設構造物撤去の実施状況



- 進捗状況**
- ・ コアボーリングによる基礎と梁との縁切り
 - ・ コンクリート床版の取壊し
 - ・ 杭切断

- 今後の予定**
- ・ 廃棄物掘削と既設杭の切断を行う

- 施工写真**
- ① コアボーリング後
 - ② 床版取壊し後
 - ③ 既設杭切断状況



撮影日 平成29年8月4日

①



撮影日 平成29年10月12日

②



撮影日 平成29年10月20日

③

現場見学会の開催

概要

・H区画有害物掘削状況について開催



開催結果

開催日:平成29年10月17日

参加者:8名



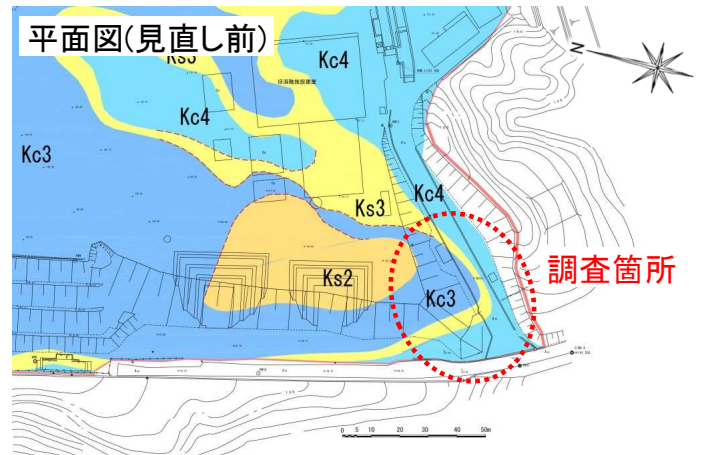
次回見学会

・工事の進捗に応じてC～E工区掘削状況等で開催予定

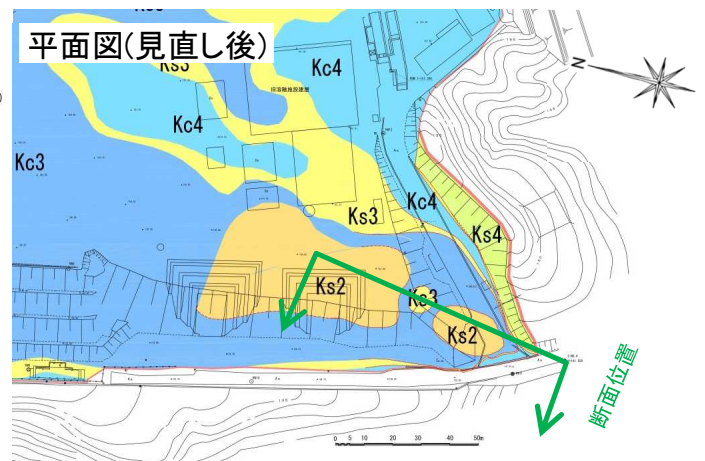
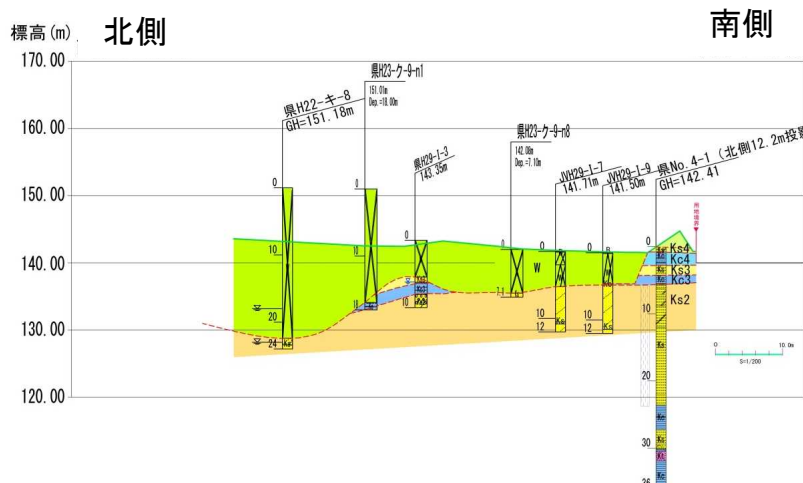
ボーリング調査結果

内容

- ・I区画の工法検討のため、追加の土質調査を実施し、その結果に基づき地層の再評価を行った。
- ・Kc3層の欠損範囲がより詳細に把握することができた。
- ・今後、調査結果をもとに工法を検討する。



断面図(見直し後)



掘削した廃棄物

特異な廃棄物

・C工区で潰れたドラム缶と内容物が浸潤した土、E工区で医療系廃棄物、廃石綿(モルタル固結物)等が出てきました

潰れたドラム缶と内容物浸潤土



撮影日 平成29年10月28日

医療系廃棄物(プラスチック容器)



撮影日 平成29年9月14日

廃石綿(モルタル固結物)等



撮影日 平成29年11月2日

潰れたドラム缶と内容物浸潤土



撮影日 平成29年11月1日

・フレコンバッグに保管→焼却処分

・飛散のおそれなし
・二重梱包→特管物として処分予定

・潰れたドラム缶14本および内容物(タール様物質)が浸潤した土、木くず等を掘削
・ブルーシートで養生して仮置き
・搬出後、焼却処分

廃石綿(モルタル固結物)



撮影日 平成29年11月2日

二次対策工事土工・処分実績(平成29年10月末現在)

項目		数量	単位	前回(7月末)との差	
仮置物撤去土量		21,300	m ³	0	
掘削土量		134,500	m ³	+14,000	
埋戻可能物仮置土量		133,800	m ³	+9,900	
埋戻再生資源		23,000	m ³	+2,700	
場外への搬出・処分量	廃棄物	可燃物(主に廃プラスチック類で木くず等が混じるもの)	21,600	t	+2,200
		不燃物(ガラス陶磁器くず、金属くず)	1,280	t	+150
		有害物(掘削由来:バッテリー、感染性廃棄物相当物)	12.1	t	+0.6
		有害物(場内残置物:バッテリー、変圧器等)	0.8	t	0
	廃棄物混じりの土	有害物(B工区、D工区他)	8,200	t	+3,200
		ドラム缶およびその内容物が浸潤した廃棄物土・医療系廃棄物混じり土	127	t	+13
		鋭利なものを含む等、選別に適さない廃棄物土等	590	t	0
		旧栗東町廃棄物埋立地由来の廃棄物混じり土	5,000	t	+350
	セメント混合廃棄物土	118	t	0	
	選別土等	ふっ素が土壤環境基準を超過したもの	6,600	t	+3,100
覆土等で鉛が土壤環境基準を超過したもの		1,400	t	0	
資源化	金属くず	97	t	0	

選別土 および 覆土等の適合確認分析

適合確認分析

- ・ 300m³毎に分析を実施して埋戻しの可否を判断
- ・ 分析項目はカドミウム、水銀、鉛、ひ素、ふっ素、ほう素、ダイオキシン類、TOC

(平成29年11月7日現在)

項目	数量	単位	前回(第21回協議会)との差	備考
選別土 適合確認回数	333	回	+ 23	
うち不適合判定数	16	回	+ 8	不適合項目: ふっ素
覆土等 適合確認回数	60	回	+ 2	
うち不適合判定数	5	回	0	不適合項目: 鉛

内容の詳細については別紙「適合確認分析の結果について」をご覧ください

- ・ 不適合選別土が8回発生し、いずれもふっ素の溶出量が管理基準(0.8mg/L)を超過しました。
- ・ 不適合選別土のふっ素溶出量は0.86~1.0mg/Lの範囲でした。
- ・ 不適合選別土の原因となった廃棄物土の掘削箇所と不適合回数は、E工区斜面下の標高144~135mで8回でした(9月選別分5回、10月選別分3回)。
- ・ 全量、廃棄物として場外搬出し、処分しました。